

研修番号【306】

# ACP（人生会議）推進に向けた 多職種連携と看護職の役割

2025 **12.19** 金 14:00～16:00

参加費  
無料

和歌山県看護研修センター  
またはWEB（ZOOM）

和歌山県では、今後さらに医療と介護を必要とする高齢者が増えることが予想されます。

ACP（人生会議）は重要性が高い一方、平常時に本人や家族が話し合うことは難しく、取り組みが進んでいません。退院後も切れ目なく支援を続けるには、病院だけでなく地域の診療所や訪問看護、施設看護師など多職種の連携が不可欠です。

本研修では、訪問診療医、がん専門看護師、ソーシャルワーカーそれぞれの立場からご講演いただき、地域でのACP推進に向けて多職種の実践を共有し、看護職の役割を考えます。

## シンポジストによる講演

『ACP推進の現状と課題 — 地域での実践を広げるために』

篠崎 真紀 先生（トータルケアまきクリニック）

『訪問看護の現場からみたACPの取り組み』

茶木 美智子 さん（訪問看護ステーション家路）

『ソーシャルワーカーの立場から — 退院支援とACP』

関本 查智子 さん（たにやまクリニック）

## シンポジウム

テーマ：「地域でつなぐACP～退院後も続く支援のあり方～」

申し込み：申し込みはこちらから。

Zoomでのご参加方法（URL・パスコード等）については、  
開催の1週間前を目安に、改めてご案内メールをお送りします。

参加対象：看護協会会員・非会員を問わず、

地域で働く看護職（保健師・助産師・看護師・准看護師）  
その他関係職種

【問い合わせ】  
公益社団法人和歌山県看護協会（佐々木）  
073-483-1005  
kango@wakayama-kangokyokai.or.jp

